

『EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドライン 第2版』の訂正

ご購入いただきました『EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドライン 第2版』(2007年4月発行)に下記の誤りがございました。お詫び致しますとともに、訂正くださいますようお願い申し上げます。

2007. 10. 15 (株)じほう

訂正箇所	誤	正
39頁 表13	Burland 400mg × 1 のプラセボ投与中再発率 症状再発 178/133 (54%) 400mg × 2 のシメチジン投与中再発率 症状再発 28/184 (18%)	178/133 (53%) 28/184 (15%)
42頁 3行目	82 ~ 91%	84 ~ 91%
72頁 8行目	ファモチジン 10mg を 2 回静脈投与し、その後 10mg を	ファモチジン 20mg を 2 回静脈投与し、その後 20mg を
72頁 9行目	ファモチジン 10mg	オメプラゾール 20mg
76頁 ステートメント②*	グレード B	A
76頁 10行目	文献番号 1), 17) 2)~9)	1), 2) 3)~10)
76頁 11行目	文献番号 10), 11), 15), 16) 13), 14)	11)~15) 16)~18)
77頁 4行目	文献番号 12)	18)
77頁 下から5行目	文献番号 18)	15)
79頁 下から4行目	グレード C	グレード C2
84頁 ステートメント②	エビデンスレベル (海外) (日本) なし なし	(海外) (日本) コンセンサス
88頁 ステートメント⑤*	エビデンスレベル 欧米	海外
95頁 ステートメント①②	保険適用 ランソプラゾール以外は可	PPI 以外は可
102頁 ステートメント注	採用されたエビデンスは欧米のものが多く	採用されたエビデンスは海外のものが多く
103頁 表7	Agrawal RAN300mgの4週治療率 30% (4/115)	30% (34/115)
107頁 ステートメント注	採用されたエビデンスは欧米のものが多く	採用されたエビデンスは海外のものが多く
115頁 7行目*	—	(「勧告のグレードも A である。」に続けて一文追加) しかし、PPI の予防投与については、現時点において保険適用が認められていないことを考慮し、グレードを B とした。
131頁 7~25行目	文献番号 13), 14), 15), 16), 17), 18)	それぞれ 16), 17), 13), 14), 18), 15)
132頁 下から19行目	19) Kuwayama H, Asaka K, Sugiyama T et al : Aliment Pharmacol Ther 2007 in press.	19) Kuwayama H, Asaka M, Sugiyama T, et al : Rabeprazole-based eradication therapy for <i>Helicobacter pylori</i> : a large-scale study in Japan. Aliment Pharmacol Ther 25 : 1105-1113, 2007

*は2刷で修正済